

高度生殖補助技術センターの概要

【主な事業内容】

① 学部段階からの胚培養士の養成

生命工学科バイオ・メディカルデータサイエンス特別コース（R4開設）において、R5年度から胚培養士を養成するためのカリキュラム（学部・修士一貫「胚培養士養成プログラム（仮称）」）を開始。本センターは、同カリキュラムの実習等を担当。

② クリニックの医師・胚培養士等の技術研修（リカレント教育）

生殖医療に関わる現役の医師や胚培養士等に対し、凍結保存、マイクロマニピュレータ、遺伝子・染色体解析などの高度な技術研修を実施することより、キャリアアップを支援。

③ 附属病院と連携した生殖医療専門医の養成支援

附属病院と連携し、本学の若手医師や医学系大学院生向けの技術研修等を実施。

